

野田泰一・西川輝昭. 2013. 国際動物命名規約の 2012 年 9 月改正. タクサ: 日本動物分類学会誌 34: 71-76. ISSN: 1342-2367, DOI: 10.19004/taxa.34.0_71

上野裕介・増澤直・曾根直幸. 2017. 生物多様性政策の新潮流 生物多様性地域戦略を活かした地域づくり. 日本生態学会誌 67(2): 229-237. ISSN: 0021-5007, DOI: 10.18960/seitai.67.2_229

徳島県鳴門市におけるスジボソフトハナバチのクササンタンカへの訪花記

録

A Record of visit to flowers of *Pentas lanceolata* subsp. *cymosa* by *Amegilla*

florea in Naruto City, Tokushima Prefecture

スジボソフトハナバチ (旧和名: スジボソコシブトハナバチ) *Amegilla florea* (Smith, 1879) は、日本(本州、四国、九州、大隅諸島)、極東ロシア、中国、朝鮮半島、台湾に分布する (多田内・村尾, 2014)、大顎・頭楯・複眼内縁などの黄色と、触角・脚・腹部腹板は赤褐色が特徴的な種で(京都府自然環境保全課, 2015)、京都府



RDB で絶滅危惧種に指定されている他(京都府自然環境保全課, 2015)、神戸市の注目すべき膜翅目にも挙げられている (吉田・八木, 2016)。また環境省第 4 次レッドリストで情報不足にあたるナミルリモンハナバチ *Thyreus decorus* (Smith, 1852) に労働寄生されることでも知られている (多田内・村尾, 2014)。営巣行動など

図 1 スジボソフトハナバチのクササンタンカへの訪花

はほとんど不明とされている(京都府自然環境保全課, 2015)。徳島県での記録は筆者の調査では不明だが普通に分布しているものと思われる。淡路島では洲本市三熊山で記録があった(岡田, 1982)。

筆者は2010年8月14日17時頃、徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦福池鳴門公園内大鳴門橋架橋記念館エディの植木鉢のクササントンカ *Pentas lanceolata* subsp. *cymosa* (Klotzsch) 'Carnea' に本種が訪花している様子を撮影したのでここに報告する(図1)。

スジボソフトハナバチへの訪花先としてはヤマハッカ、ツシマママコナ(加藤, 2006)、テンニンカ(Wei et al., 2009)、キキョウ(市川, 2011)、ギボウシラン、ゲットウ、フクジンソウ、フジウツギ(多田内・村尾, 2014)、ツリフネソウ(多田内・村尾, 2014; 京都府自然環境保全課, 2015)、キツネノカミソリ(Yamaji & Ohsawa, 2015; 2016)、*Impatiens platypetala* Lindl. (Priawandiputra et al., 2017)、シラタマカズラ(Sugawara et al., 2016)、シソ科(片岡ら, 2019)などが知られるが、クササントンカへの訪花は文献では確認できなかった。長い中舌による吸蜜に適う円筒花と共進化してきているとされ(京都府自然環境保全課, 2015)、その訪花先にはそのような植物が関連していると思われる。

引用文献

- 市川俊英・倉橋伴知・幾留秀一. 2011. 香川県で採集された訪花ハナバチ類とキムネクマバチによる新奇な授粉様式の可能性. 香川大学農学部学術報告 63(116): 43-59. ISSN: 0368-5128
- 片岡義方・秋山重信・金子留美子・桜井正臣・竹川應仁・西岡 稔・平田登志子・山本由紀子・芳川雅美. 2019. 有馬富士公園の昆虫相 -2018年の昆虫調査-. きべりはむし 42(1): 57-73. ISSN: 1884-9377
- 加藤真. 2006. 周防灘長島における海岸植物の訪花昆虫相. 日本生態学会中国四国地区会報 60: 21-27.
- 多田内修・村尾竜起. 2014. 日本産ハナバチ図鑑. 文一総合出版, 東京. 479pp. ISBN: 9784829988428
- 京都府自然環境保全課. 2015. 京都府レッドデータブック 2015 第1巻 野生動物編. 京都府自然環境保全課, 京都.
- 岡田清隆. 1982. 淡路島産蜂類採集記録 (II) . Parnassius 26: 13-16.

- Priawandiputra, W., Kasagi, T., & Nakamura, K. 2017. Variation in Flowering Plant-Bee Linkages Following Experimental Restoration of Satoyama Paddy Fields. *International Proceedings of Chemical, Biological and Environmental Engineering* 107: 1-9. ISSN: 2010-4618, DOI: 10.7763/IPCBE.2017.V102.1
- Sugawara, T., Watanabe, K., Takaso, T., Tabata, M., & Shimizu, A. 2016. Incompatibility and pollination of distylous *Psychotria serpens* (Rubiaceae) in the Ryukyu Islands, Japan. *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica* 67(1): 37-45. ISSN: 1346-7565. DOI: 10.18942/apg.KJ00010238485
- Wei, M. S., Chen, Z. H., Ren, H., & Yin, Z. Y. 2009. Reproductive ecology of *Rhodomyrtus tomentosa* (Myrtaceae). *Nordic Journal of Botany* 27(2): 154-160. ISSN: 0107-055X, DOI: 10.1111/j.1756-1051.2009.00137.x
- Yamaji, F., & Ohsawa, T. A. 2015. Breaking-bud pollination: a new pollination process in partially opened flowers by small bees. *Journal of plant research* 128(5): 803-811. ISSN: 0918-9440, DOI: 10.1007/s10265-015-0741-8
- Yamaji, F., & Ohsawa, T. A. 2016. Field Experiments of Pollination Ecology: The Case of *Lycoris sanguinea* var. *sanguinea*. *Journal of Visualized Experiments* 117: e54728. ISSN: 1940-087X, DOI: 10.3791/54728
- 吉田浩史・八木剛. 2016. 神戸市の注目すべき双翅目および膜翅目の記録. *きべりはむし* 38(2): 21-25. ISSN: 1884-9377

ヤマトアシナガアリの腐倒木営巣例

Example of rotting tree nesting of *Aphaenogaster japonica*

ヤマトアシナガアリ *Aphaenogaster japonica* Forel, 1911 は北海道から屋久島まで見られ、林縁や林内の土中、岩のすき間などに営巣するとされる種である（日本産アリ類データベースグループ, 2003 ; 寺山ら, 2014）。

筆者は本種を含む奈良県内のアリ相を報告したが（池田ら, 2020）、その後写真を整理していた所、2014年5月22日15時頃に、奈良市中町近畿大学奈良キャンパス北西部の林にあった腐倒木を割った中に本種のコロニーと、同コロニーが作ったと思われる坑道が現れている写真を確認した（図2）。樹種は記録が古く記憶していないが、落葉広